

工学研究科 航空宇宙海洋系専攻（博士前期課程）カリキュラムマップ（航空宇宙工学分野）

【設置の趣旨・必要性】

20世紀に航空機は人や物の輸送の概念を一変させ、ロケットや人工衛星は宇宙を身近なものとし、その利用を推進してきたが、近年その重要性がますます高まっている。航空機、宇宙機に関する産業は高度な技術が求められる先進国特有の成長産業であり、この分野で活躍できる高度人材の育成が求められている。

このため、大阪公立大学大学院 工学研究科では、これまでの教育研究組織の資源と実績を承継し、航空宇宙海洋系専攻を設置する。当該専攻には、航空宇宙工学分野及び海洋システム工学分野を設定し、航空機、宇宙機、ならびに船舶、海洋システムの開発・運用に関する学問分野において、航空機・宇宙機をはじめとする様々なシステムについての先端的総合工学分野について教授し、人類の持続可能な発展と地球環境の保全との調和を目指し、未来を担う技術者・研究者を育成し、社会に貢献する。

【養成する人材像】

- 航空機、宇宙機に関するシステムの開発（計画・設計・製造・運用・評価）ならびにその利用について広く理解し、自分の考えを発信することができる人材
- 航空宇宙工学分野における研究を遂行でき、問題を解決することができる人材
- 地球環境システムについて広く理解し、自然環境と人間活動との調和を基調とする視点に立って、総合的に判断できる人材
- 幅広い基礎的知識に裏付けされた高い創造性と柔軟性を発揮することができ、国際的に活躍できる人材
- 技術革新に挑戦することができ、可能性を切り開くことができる人材
- 人類、社会の重要課題を全地球的な視野から捉えることができ、問題を提起し、解決できる人材

